

学校図書館における具体的な事例及び進捗状況について

学校図書館担当専門主査
飯田西中学校 牧野優子

学校図書館では「いいだ未来デザイン 2028 小戦略」を「自発的な読書活動の推進」と「情報活用能力育成指導の推進」の2本を柱として整理し、取り組んできました。

令和3年度の取組

1 飯田市内の小中学校全校統一書式での「学校図書館経営計画」作成と関係機関への配付（学校図書館）

（1）経営計画作成の目的（令和3年度から作成）

- ①いいだ未来デザイン 2028 及び第2次飯田市教育振興基本計画（中期）を市の職員（市図書館担当者）として理解し、達成に向けた取り組みを検討・整理するため。
- ②経営計画を校内職員に周知することで、学校図書館におけるサービス等が理解され、活用が進み、利用（者）増、目標達成につなげるため。
- ③学校図書館の取り組みを教育委員会や飯田市立図書館、市役所内で周知してもらうことで、連携し推進できるようにするため。
- ④正規職員が減少したり、いずれは正規職員がいなくなったりした時に困らないよう、持続可能な図書館づくりに向け、市内学校図書館の運営を可視化するため。
- ⑤異動や着任した時に、自校の図書館の概略や取り組み・目指す子ども像などが一目で把握できるようにするため。

（2）成果

- ①未来デザイン及び小戦略目標について市内全校の学校司書が共通理解し、各校図書館運営計画と戦略目標を関連させて立案したことで、目標達成に向けた取り組みを明確にすることができ、具体的な取り組みにつなげることができた。
- ②図書館経営計画を校内で共有することで、飯田市の戦略目標を県費職員等にも周知・理解してもらうことができ、目標達成に向けた協力体制を築くことができた。

2 発達段階に応じた子どもの読書活動の推進計画作成と共有（学校図書館・公共図書館）

（1）推進計画作成の目的

飯田市内の子どもたちが同じサービスが受けられるよう、図書館（学校・公共図書館）利用を通して目指す子どもの姿やつきたい力（読書活動・情報活用能力）を市内学校図書館担当者、公共図書館職員が共通認識した取り組みを行うため。

（2）成果

推進計画は令和2年度から作成し、その後、毎年作成している。

目指す子どもの姿やつきたい力を明確にすることで、現在の課題や今後取り組むべきことを整理することができた。また、未来デザイン及び小戦略目標達成に向け、市内の学校・公共図書館の取り組みが可視化でき、図書館関係職員が年度を通じてどのようなことに取り組むのか明

確にすることができた。

子どもの読書活動推進計画を連携して作成したことが、3の図書リスト作成につながった。

3 小学生の自発的な読書に向け、本の楽しさと読む力の獲得に向けた、学年別図書リストの作成と活用（学校図書館・公共図書館）

(1) リスト作成の目的

市内のすべての子どもたちが充実した読書活動を行えるよう、公共図書館と学校図書館が連携し、子どもの発達段階に応じたおすすめ本を紹介するリストを作成し、配付する。

(2) 成果

◆作成・配付状況

- 令和2年度－小学校1・2年生版作成と配付
 - 令和3年度－小学校3・4年生版作成と配付
 - 令和4年度－小学校5年生版の作成と配付（現在進行中）
 - 令和5年度－小学校6年生版の作成と配付（予定）
- *進級するごとに該当学年のリストを配付

◆学校での活用状況

- ①図書リストを配付するだけでなく、リストの本を読み聞かせしたり、本にシールやアピールプレートをつけたりするなど、各校司書の工夫した取り組みによって、本を読むことの楽しさを知り、自発的に本を読む姿が増えた。
- ②分館図書館と学校図書館で共通したリストを活用した取り組みを行うことで分館利用者が増えたり、学校図書館の利用者も増えたりするなど、公共図書館と学校図書館が連携してリストを作成した良さが、子どもたちの図書館利用の姿に現れた。

4 令和3年度における「自発的な読書活動につながる環境整備・サービス」（学校図書館）

(1) 各校の取組（中学校も同様の取組の場合は太字ゴシック体）

環境整備	<ul style="list-style-type: none">○魅了ある図書館環境整備○子どもたちが探しやすい本の配架○絵本コーナー書架の整備○1・2年生用「童話コーナー」の設置○全校児童・生徒への新着図書紹介掲示の工夫○電子黒板を活用した新着図書紹介○季節や学校行事に合わせたテーマ図書の展示
------	---

「図書館の時間」（小学校のみ）	<p>*「図書館の時間とは」・・・小学校のみ、各クラス週1時間国語の授業カウントで行う。この時間は学級担任指導の元で行われ、学校司書は学級担任の依頼に応じて、読み聞かせ・ブックトーク・情報活用能力育成指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">○「図書館の時間」での新着本紹介○「図書館の時間」での読み聞かせ・ブックトーク
-----------------	---

朝読書の時間を活用した活動 (中学校のみ)	○図書館朝読書（通常は各教室で行う読書を図書館で実施）
児童・生徒同士による本の紹介活動	○ビブリアバトル ○全校児童によるおすすめ本紹介 ○6年生のおすすめ本の紹介 ○先輩がおすすめする本の紹介 ○「わたしが感動した本の一行」紹介 ○ICTを活用したおすすめ本紹介
図書委員会による活動 (読書週間・読書旬間による活動を含む)	○図書委員の読み聞かせ ○本の投票企画(購入希望本リクエスト) ○図書委員のおすすめ本コーナー ○読書クイズ ○本のビンゴスタンプラリー ○読書ビンゴ ○おすすめ本紹介 POP 掲示 ○全校各学年人気本投票 ○図書館応援キャラクター募集 ○ペア読書 ○しおりづくり ○図書館の本に関するクイズ ○お気に入りの一冊ひとこと感想掲示 ○購入希望図書アンケート
推薦図書を活用した活動	○「龍江小ブックマスター（学年ごとのおすすめ本リスト 30冊を読むと賞状と3冊貸出券配付）」 ○「川路小ブックマスター（学年ごとの課題図書を読むと賞状と3冊貸出券配付、写真を図書館内に掲示）」 ○「鼎小チャレンジブック（各学年読んで欲しい本40冊）」の紹介
読書ボランティアによる活動	○読書ボランティアによる読み聞かせ ○読書ボランティア勉強会への参加
先生方と連携した活動	○「先生のおすすめ本紹介」作成と掲示 ○先生方によるおすすめ本紹介タイム ○おはなし給食（本にちなんだ給食を出してもらおう） ○国語の授業で作成した本の紹介 POP の掲示 ○おはなし給食放送

学校司書による 取り組み	<p>○図書館だよりの発行</p> <p>○新着図書情報を盛り込んだ図書館だよりの発行</p> <p>○貸出冊数に応じたスタンプカードの配付</p> <p>○全校児童による「小学生が選ぶ！こどもの本 総選挙」への参加</p> <p>○児童による巡回図書購入</p> <p>○学校司書がおすすめる本の紹介 POP 掲示</p> <p>○教科書紹介本を読んでスタンプラリー</p> <p>○テーマ本探し</p> <p>○自分で本を決められない時に先生方のおすすめ本などを紹介する「おたすけクジ」</p> <p>○国立国会図書館の図書貸出サービスを活用した本の貸出</p> <p>○題名の見えない本袋</p>
学校&公共図書館職員で作成した図書リストを活用した取り組み	<p>○「よむリス」リスト本の購入</p> <p>○「よむリス」リスト本コーナーの設置</p> <p>○1・2年生「よむリスビンゴ」、3・4年生「よむリスポイントカード」</p> <p>○「図書館の授業」での紹介</p> <p>○松尾分館と連携した「よむリスビンゴ！」</p>
飯田図書館と連携した活動	<p>○団体貸出の利用</p> <p>○分館図書館の紹介</p> <p>○竜丘小・竜丘分館で本を借りてポイントカード</p> <p>○「飯田図書館職員がおすすめる本」の紹介掲示</p> <p>○図書館探検</p> <p>○公共図書館での貸出体験</p> <p>○公共図書館での読み聞かせ</p> <p>○学校での授業成果物(本の紹介 POP,おすすめる本紹介、クイズ等)の展示</p>
小小連携・小中連携	<p>○千代小・千栄小・上久堅小3校児童によるおすすめ本POPづくりと紹介</p> <p>○西中図書委員による丸山小学校1年生へのおすすめ絵本紹介掲示作成</p> <p>○小学6年生に向けた「中学校図書館案内」の配付(中学校作成)</p>
家庭との連携	<p>○「結いの日」における家庭読書</p>

(2) 「読む力」をつけるための読書指導

できるだけ質の高い本を読めるよう、全校一斉に行う朝読書、全校読書の時間に読む本は読み物(文学作品)とする指導を行っている。これは、読む本を限定しないと、図鑑類やスポーツ関係などの本を眺めているという実態があることから、「見る・眺める読書から、文字に触れる・文字を読む」読書を推進している。(市内全校の取組ではない)

5 令和3年度における「情報活用能力育成につながる環境整備・サービス」(学校図書館)

(1) 情報活用能力育成指導に関するアンケート・実態調査の実施 (令和3年12月に実施)

◆アンケートの目的

- ①情報活用能力育成指導は、本来は学級担任・教科担任が行うことであるが、現在、飯田市の学校司書が行っている指導・支援の実態を把握するため。
- ②今後、飯田市の学校で統一した指導・支援をするために必要なデータ等の整備に向け、要望を把握するため。

(2) 情報活用能力育成指導に関するアンケート・実態調査まとめ

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1 令和3度に小学校司書(図書館係)が指導・支援した内容 | 別紙① |
| 2 令和3度に中学校司書(図書館係)が指導・支援した内容 | 別紙② |
| 3 市内統一した情報活用能力育成指導教材整備要望のまとめ | 別紙③ |

(3) 令和3年度における「情報活用能力育成につながる環境整備・サービス」報告 (学校図書館)

***中学校も同様の取組の場合は太字ゴシック体**

環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館配置図、書架案内の掲示 ○調べ学習用記録カードの整備 ○授業(単元)に合わせた図書の展示 ○学校行事にあわせた図書の展示 ○新聞コーナーの設置
資料整備	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書掲載図書の購入 ○教科の授業に対応した図書の購入 ○飯田市に関するパンフレット収集・整備
先生方への働きかけ	○ 調べ学習用資料購入情報の提供
「図書館の時間」における情報活用能力育成指導の実態(小学校のみ)	<p>*「図書館の時間とは」・・小学校のみ、各クラス週1時間 国語の授業カウントで行う。この時間は学級担任指導の元で行われ、学校司書は学級担任の依頼に応じて、読み聞かせ・ブックトーク・情報活用能力育成指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書の分類・配架「日本十進分類法」指導 ○百科事典の使い方指導 ○図鑑の使い方指導
情報活用能力育成指導(中学校のみ)	○ 図書の分類・配架「日本十進分類法」指導

学校司書による 授業支援	○教科の授業におけるブックトークなどの支援 ○教科の授業におけるレファレンス（相談）
児童・生徒によ る活動	○図書委員による図書館の本を使った「調べ学習クイズ」

6 小・中学生の「自発的な読書活動・情報活用能力育成」にむけた研修会の実施

(1) 研修会の内容

○5月21日－第1回 飯田市学校図書館担当者会（オンライン）

内容－①いいだ未来デザイン2028・第2次飯田市教育振興基本計画（中期）取組の説明

②図書館経営計画作成依頼

⇒各校の取組を「自発的な読書活動につながる環境整備・サービス」と「情報活用能力育成につながる環境整備・サービス」で検討・整理してもらう。

③令和3年度版「発達段階に応じた子どもの読書活動推進計画」確認

④小学校3・4年生向け図書リスト作成計画・リスト掲載図書募集依頼

○7月30日－第2回 飯田市学校図書館担当者会（参集）

内容－①読み聞かせ基礎講座（講師－上郷図書館長）

②市内小中学校における調べ学習用購入図書紹介・活用状況紹介

③飯田市立図書館における調べ学習用購入図書紹介

④各校の学校図書館経営計画発表と情報交換

○11月29日－飯田市学校図書館担当研修会（希望者のみ参集）

内容－全国学校図書館協議会主催「学校図書館セミナー2021」 オンライン視聴
情報活用能力育成に関する授業事例やアイデアの紹介

○1月21日－第3回 飯田市学校図書館担当者会（オンライン）

内容－①図書館経営計画実践発表（小学校3校・中学校3校）

②情報活用能力育成指導に関する実態調査報告

③情報活用能力育成指導資料データ提供依頼

○3月1日－図書館経営計画実践事例まとめを各校へ配付

1月21日の担当者会で図書館経営計画実践報告を全担当者が発表できなかったため、各校A4版1枚以内に事例をまとめ収集し配布した。

(2) 成果

①令和2年度までは年1回であった担当者会・研修会を年4回行うことで、図書館担当者の資質向上を図ることができた。

②読み聞かせ基礎講座やデジタル社会における情報活用能力育成指導の必要性を学ぶ機会を設けるなど、戦略目標達成に向けた取り組みができた。

- ③市図書館職員と一緒に研修を行うことで、それぞれの場での施策や課題等について理解を深めることができ、目標達成に向けた協力体制を築くことができた。

7 令和4年度を取組

- (1) 令和4年度版 図書館経営計画作成 * 7月末に完成予定
- (2) 令和4年度版 発達段階に応じた子どもの読書活動推進計画作成と共有
- (3) 小学校5年生版 図書リスト作成と配付、小学校1～4年生版図書リスト配付と活用
- (4) 自発的な読書活動推進ー市内全校の小中学校図書委員がおすすめる本の紹介スライドを作成し、各校の秋または冬の読書旬間時に図書館廊下等に掲示する
- (5) 情報活用能力育成指導ー各校や各担当者が使用している情報活用能力育成指導資料を飯田市学校図書館担当者が利用できる Google ドライブ「市学校図書館教材バンク」に蓄積していく。市内に住む子どもたちに同じサービスを提供できるよう、共通使用できる指導教材の整備を推進中。

8 「読む力（読解力）の育成」、「探究的な学び（情報活用能力育成）」に向けた飯田西中学校の取組

- (1) 読む力（読解力）の育成ー「新聞を読む活動」（呼称ー新聞よむよむタイム）

①実施内容

1回目ー令和4年2月7日（月）～10日（木）の朝読書に時間に実施（図書館閉館中）

読んだ新聞ー中高生のための朝日 SDG s ジャーナル 創刊号

（申込みがあった学校のみ朝日新聞社より全校生徒・職員分を無償提供）

2回目ー令和4年4月11日（月）～15日（金）の朝読書の時間に実施（図書館開館前）

読んだ新聞ー中高生のための朝日 SDG s ジャーナル 第2号

（申込みがあった学校のみ朝日新聞社より全校生徒・職員分を無償提供）

*二学期に「新聞よむよむタイム」を実施予定

*今後、信濃毎日新聞社配信 新聞学習シートを活用した取り組みを行う予定

*第1回・第2回「新聞よむよむタイム」の取組は西中ホームページに掲載

- (2) 探究的な学び（情報活用能力育成）を目指した「一人一探究」・「探究タイム」

①「一人一探究」・「探究タイム」の目的

- ・情報活用能力を身につける
- ・探究的な学びを体得する
- ・高校での「探究学習」につがる力を育成する。

②実施方法

「探究タイム」で獲得した情報活用能力を生かして「一人一探究（一研究）」を行い、図書館閉館後の2月～3月の朝読書の時間にプレゼンテーションを行う。

③探究タイム指導内容

- 問いのたて方（テーマ設定）
- インターネット検索
- 図書館での文献調査
- インタビュー方法
- アンケート調査
- 著作権
- 要約・引用
- スライドまとめ方
- プレゼンの仕方

④探究タイム実施時間

毎週金曜日の朝読書の時間（10分）を活用して行う。

⑤探究タイム実施方法

- ・オンライン（meet）で行う。
- ・当日8時に各クラス図書委員のタブレット端末を電子黒板につなぎ、指定されたクラスルームのmeetに参加する。
- ・8時15分から「探究タイム」を開始し、25分には終了する。
- ・「探究タイム」前日の昼の放送で内容の告知とオンライン接続の連絡をする。

⑥「探究タイム」年間計画

一人一探究（探究タイム）年間スケジュール

月	全体の流れ	探究タイム（情報活用スキル習得）の内容
5月	探究ガイダンス・探究タイム	・ICTや図書資料を活用した情報収集について
6月	一人一探究・探究タイム	
7月		
8月		
9月		
10月		・情報の整理やまとめ方について
11月		・発表の仕方について
12月		
1月		
2月	一人一探究発表（スライドにまとめた探究内容を、1人3分で発表-朝読書の時間）	・発表に対する自己評価
3月	一人一探究の振り返り	

⑦ 5・6月・7月の探究タイム

回	日	内容
1	5/13（金）	「探究タイム」① 「探究タイム」・「一人一探究」とは
2	5/20（金）	「探究タイム」② 一人一探究の問いをたてよう（テーマの設定）
3	5/27（金）	「探究タイム」③ 一人一探究の問いをたてよう（テーマの設定）
4	6/3（金）	「探究タイム」④ 一人一探究の問いをたてよう（テーマの設定）
5	6/10（金）	「探究タイム」⑤ 情報収集メディアの特徴を知ろう
6	6/17（金）	「探究タイム」⑥ インターネット検索方法を知ろう
7	6/24（金）	「探究タイム」⑦ 一探究計画書の作成方法を知ろう
8	7/1（金）	「探究タイム」⑧ 一探究計画書を入力しよう
9	7/8（金）	「探究タイム」⑨ 図書館で情報収集しよう
10	7/15（金）	「探究タイム」⑩ インタビュー・アンケート調査方法を知ろう
11	7/22（金）	「探究タイム」⑪ 著作権に気をつけよう

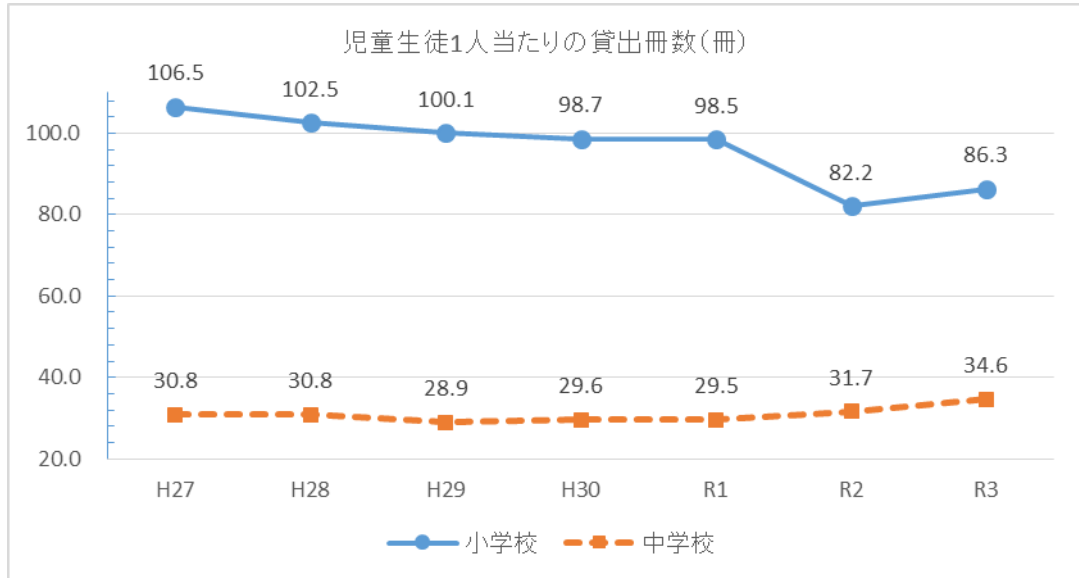
* 「探究タイム」の取組は西中ホームページに掲載

9 図書貸出冊数の推移

(1) 一人当たり貸出冊数

(冊)

	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
小学校	106.5	102.5	100.1	98.7	98.5	88.2	86.3
中学校	30.8	30.8	28.9	29.6	29.5	31.7	34.6



(2) 考察

○令和2年度

- ・ 小学校の減少－休校や学級・学年閉鎖等により「図書館の授業」が減少したこと、休み時間や昼休み等の図書館利用制限を行ったことによるものである。
- ・ 中学校の増加－休校等への対応のため、1回の貸出冊数を多くしたことによるものである。

○令和3年度

- ・ 小学校の増加－令和2年度より「図書館の授業」が増えたり、休み時間や昼休み等の図書館利用制限を緩和したことによるものである。
- ・ 中学校の増加－小学校での読書指導が中学校に引き継がれたり、小中連携で中学校の図書館利用を楽しみにしていた1年生を中心に、貸出冊数が増加していることによるものである。

○小学校の貸出冊数が年々減少している理由として考えられること

- ①学習指導要領改訂に伴い、平成30年度から小学校5、6年生に「外国語活動」が導入されるようになった。総授業時数が変わらない中での導入となったことから「外国語活動」の時間を確保するために、各クラス毎週一時間行われていた「図書館の時間」を二週間に一度に変更したことに伴い、図書の貸し借りの時間が減少したことによるもの。
- ②平成27年度頃までは毎日全校一斉読書が行われていたが、令和元年度 飯田図書館調査にあるように、小学校でほぼ毎日全校読書を行っている学校が4校、週に2～3回程度が6校、週に1回程度が9校と減少している。減少の要因はその時代の教育課題に対応した活動(全校体育・ドリル学習・児童集会)が読書に代わって行われるようになったことによるもの。

10 今後の課題

- (1) 読解力の定義理解、共有
- (2) 学校司書への教頭会プロジェクト情報の共有
- (3) 「読解力」向上に対する学校図書館における取組の検討